

ぽっかぽかだより 第13回 2005.10.23

～はげましあって楽しく子育て～

《参加者から一言》

★いおまさん

夜のみ1～2回母乳続けている。

一旦母乳をやめたが病気がきっかけになり又授乳開始となる。本人がバイバイするまで頑張ろうと思っている。

★らむさん(子供7才・5才・2才)

一人目のとき、初めはミルクと混合。周囲のアドバイスで完母に移行。みなさんの力になりたい。

★なぎささん(子供5才・3才・1歳1ヶ月)

一人目出産後、産科よりミルクを足してくださいと言われるままにしていたら、母乳が止まってしまった。二人目は義姉のアドバイスで完母へ。母乳育児は、出かける時の荷物も少なくてすむし、なにより気楽に子育て出来た。三人目も卒乳まで頑張りたい。

★みかんさん(子供1才7ヶ月)

一人目助産院で出産。現在妊娠6ヶ月。産院では授乳禁止と言われるが授乳している。今の所問題ない。

★Tさん

生後4日目で黄疸あり。産院より母乳を禁止されたりした。次の子は母乳のみでいきたいと思っている。そろそろ二人目をと考えているが、生理がないので心配。

★Mさん

生後ミルクでしたが、友人の授乳姿がいいなぁと思いサークルに参加。母乳に切り替えてやっていたが、体重低下で助産師さんとの相談にて現在混合に。でも頻回授乳を心がけている。

★Aさん

乳腺炎になり、夜間当番で産婦人科をすすめられて治療。すっきりいかず、ここいやしさんで治療してもらい治った。

★T2さん(子供10ヶ月)

先月乳腺炎になった。乳歯の色や言葉の発達について気になることがある。

★Aさん(子供9ヶ月)

初参加。長崎の母乳推進の産科で出産。

最近、右側のおっぱいが痛い。飲み残しなのかな・・・。

★T3さん

母乳育児中。前回とても勉強になり今回も参加。

★M2さん(子供7ヶ月)

入院時は混合。退院後母乳へ。離乳食は少量でおっぱいが中心。周りの同

じぐらいの子と比較すると少食なのではないかと気になる。

★Iさん

二回目の参加。

二人目33週で出産。保育器に入っているけど、搾乳して母乳を与えられたが止まってしまふ。退院して直接授乳により母乳が出るようになった。

《意見交換》

◎子どもの体温が低いのでは…？

★寝太郎先生…体温は水銀体温計で15分計らないと正確な値はでない。電子体温計は予測式なので誤差が大きい。少し体温が低い、少し体温が高いというのは子どもが元気であれば心配ない。体温計の数字に振り回されないように。子どもを数字で評価しないでほしい。

◎右のおっぱいばかり、乳腺炎になりかける。おっぱいを飲ませた後やわらかくても痛がゆい感じあり。しこりがある。

★なぎささん…おっぱいのでるほうだけ乳腺炎になりやすい。

★みかんさん…痛い方にあごをつけて飲ませていた。又、赤ちゃんに覆いかぶさるように飲ませる事もあった。じゃがいも湿布もいいと聞いた。

★S助産師さん…じゃがいも湿布の作り方は、じゃがいもをすって、酢を2～3滴おとします。小麦粉を混ぜて耳たぶぐらいのやわらかさにして、ガーゼにくるんでおっぱいにあてます。

★なぎささん、みかんさん…じゃがいもをつつむのに、キッチンペーパー(リード)をつかいました。やぶれなくて便利でした。

◎ミルク会社の人にフォローアップミルクをすすめられた。母乳がうすくなり、離乳食はかたよりがある、そして鉄分不足になるといわれた。今の時期は500ml飲ませるようにと。飲ませないと貧血になるといわれた。どうすればいいのか。

★寝太郎先生…貧血を心配するのであれば、実際は血液検査をしないとわからない。結果、貧血だったら鉄剤を使用。お母さんが妊娠中に貧血と言われた人は、検査をしたほうがよい。産まれた時から鉄が不足している可能性がある。又、お母さんが貧血である場合は、日頃のお母さんの食事の鉄分が不足している可能性がある。なので、赤ちゃんの食事その傾向にある可能性がある。フォローアップミルクはミルクと書いてあるがミルクではない栄養補助食品です。ほとんどの赤ちゃんには必要ない。

★なぎささん…2番目の子どもは2～3か月で貧血だった。鉄剤を飲んだ。今回、3人目の子どもが風邪をひいて採血したが貧血ではなかった。子どもによって違うんだなと感じた。

★Tさ…鉄剤以外で鉄分をとる方法は？又、知り合いの子どもが8か月くらいのときに夜泣きがひどいので、ミルクにかえてみたらといわれミルクに変更し、おっぱいをのまなくなってしまうと聞きました。

★寝太郎先生…明らかな鉄欠乏性貧血の人が食品だけでとるのは無理があり偏食になってしまうこともある。そのために鉄剤がある。

★なぎささん…夜泣きでおっぱいをやめるといのが……？実際、夜泣きで悩むのが母乳育児のほうが少ないと思う。

★みかりん先生…赤ちゃんはお母さんを起こすために泣く。夜泣きで母乳をやめるなんてもったいない。薬局の育児指導の方は育児のプロではなく、マニュアルで指導をしています。人間は哺乳類という動物です。哺乳類はお母さんのおっぱいを飲み、お母さんの食べるものをほしがるようになり、ちょこちょこよっかいをだし、お母さんと一緒のものを食べるようになります。この過程にフォローアップミルクは必要ありません。

◎Mさん…子どもの右ほっぺが赤くなる。湿疹なのか？

★寝太郎先生…今の状態は湿疹ですね。湿度が低いと乾燥します。この時期は子どもたちの肌につきやすい時期です。保湿をしたほうがいいです。市販のものはいろんなものが入っているので単純なワセリンが安心。肌が乾燥だけで赤くならないうちにワセリン塗布するといいです。

★なぎささん…スキンケアで朝、夕、石鹸で洗うというのは乾燥するこの時期も石鹸で洗ったほうがいいのか？

★寝太郎先生…石鹸で洗うのは皮膚トラブルのある人です。かゆい場合は1日2回洗います。今の時期に寒いからと朝のシャワーをやめて悪化してしまうアトピーの子どもが多い。洗った後はワセリン塗布をしましょう。

◎M2さん…離乳食を少ししか食べない。7か月ですがどのくらい食べるのが普通なのか？

★寝太郎先生…離乳食以外は母乳ですか？食べ初めてどのくらい？おかゆの硬さは？

★M2さん…離乳食以外は母乳です。食べ始めてから1か月半。おかゆはドロドロより少しかたいくらい。離乳食の内容は、冷ごはんを鍋でグツグツしてからつぶす。味噌汁のうわずみと具をつぶしたもの。煮物をつぶしたもの。ヨーグルトは嫌うので1～2さじぐらいです。ベビーフードだと1/4も食べない。少し粒があたるとオエツとする。母乳もちょこちょこしか飲まない。

★なぎささん…7か月は1さじ2さじくらい食べていた。人と比べないで、食べなきゃ食べないでいいや～という気持ちで。親と一緒に食べると食べる事もある。外につれていくとお腹がすいてたくさん食べることもある。

★寝太郎先生…身長と体重のチェックをして明らかな問題がないという確認はした方が安心。子どもの大きさ、食べる量もそれぞれの個性です。大きくても小さくても、食べても食べなくても、どちらも心配で色んな相談があります。その子なりのペースで様子見てよいケースが多い。

★みかりん先生…親が食べる量を決めなくてもよい。おっぱいを飲んでる時期は心配しなくてもよい。人間は動物です。動物は食べたい時に食べるものに手をだします。

★寝太郎先生…食べないからといってお菓子やプリン・ヨーグルトなどを食べさせる親がいます。子どもは食べないと甘いものをもらえると学習してしまいます。精製した砂糖は自然に存在しない強烈な甘味があり食欲を乱してしまいますので、あまり与えないようにしましょう。



文：なぎさ&らむ